

共謀罪の強行採決に抗議!

議会破壊の暴挙、独裁への道進むのか

安倍政権打倒へ
全力をあげます!

日本共産党

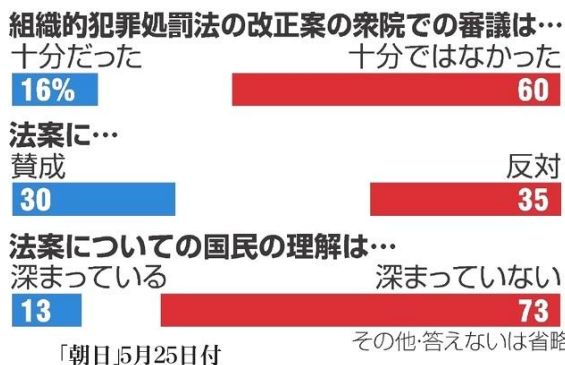


11日米子市文化センター前で

安倍政権が恐れたのは、共謀罪の目的が国民監視社会をつくることだと国民が気付くことでした。そして加計学園問題での「国政私物化」への厳しい批判に、早く国会を閉じたかったのです。
こんな民主主義破壊、独裁国家への危険な道を許すわけにはいきません。共謀罪廃止、安倍政権打倒のたたかいを広げましょう。

国民の批判を恐れた安倍政権

国民の心の中を処罰する、一般人も広く監視・捜査対象となる、「テロ対策」ではない——審議するほど問題点が噴き出した「共謀罪」法案を、安倍政権は法務委員会の採択をすつとばし強行採択しました。
議会制民主主義のルールを踏みこじる悪法のゴリ押しは許せません。強引なやり方は、国民の批判と野党の追及を恐れたもの。来るべき選挙で、厳しい審判を下しましょう。



委員会採決をすつ飛ばすとは!



鳥取民報

2017年6月号外 鳥取民報社
鳥取市古海 1114 ☎0857(22)8369
日本共産党西部地区委員会の政策を紹介します。



衆議院議員(比例代表)

大平よしのぶ



党准中央委員(比例代表)

かきうち京美



党県常任委員(鳥取2区)

福住ひでゆき